

安全データシート



製品名: マグナ 505
更新日: 2017-04-10
製品番号:

ページ: 1/11
最終改訂日: 2019-10-31
SDS-ID: GB-EN/1.1

第 1 章: 製品及び会社情報

1.1. 製品情報

製品名: マグナ 505
容器サイズ: 2 kg と 4 kg

1.2. 物質または混合物質に関する用途

用途: 手動アーク溶接棒

1.3. 安全データシートの提供者の詳細

供給者: EU輸入者

製造者: ITW PP & F Korea Limited.
13th Fl., Unit B, PAX Tower
609 Eonju-ro, Gangnam-gu
Seoul, Korea 06108
Tel:+82-2-2088-3560
Fax:+82-2-513-3567
magna@magnagroup.com
www.magnagroup.com

日本国内 輸入元: 株式会社エクシード
テクニカルカスタマーセンター
[TEL:046-286-5855](tel:046-286-5855) FAX:046-286-5857
神奈川県愛甲郡愛川町中津3503-8番地

1.4. 緊急時の電話番号

緊急時の連絡先: 緊急時は救命センターの緊急番号で医師/救命士を呼んでください。

安全データシート

製品名:	マグナ 505	ページ:	2/11
更新日:	2016-05-07	最終改訂日:	2019-10-31
製品番号:		SDS-ID:	GB-EN/1.1

第 2 章: 危険有害性の確認 【GHS分類(化審法、安衛法)】

2.1. 物質または混合物の分類

CLP: 皮膚感作性 2;H315
特定標的臓器毒性(反復ばく露)1;H372
慢性水生毒性 3;H412

2.2. ラベル要素

固体金属および合金は、市場に出される形態で人の健康や環境に危険を及ぼさない場合、危険ラベルは必要ありません。ラベルに記載されるはずの情報は、ここに示されています。



危険

内容: ヘキサフルオロアルミン酸トリリチウム

H315 皮膚に対する刺激性

H372 吸入すると、長期又は反復ばく露により臓器に損傷を与える

H412 水生生物に有害であり、長期にわたる影響を及ぼす

P101 医師の診断が必要な場合、製品の容器又はラベルを手元に置くこと

P260 ヒュームを吸入してはならない

P280 保護衣、手袋を着用すること

P501 内容物／容器を地域の規則に従って廃棄すること

2.3. その他の危険有害性

PBT/vPvB: 本製品はPBT物質、vPvB物質を含んでいません

その他: 溶接ヒュームの長期又は反復ばく露により、肺及び呼吸器系に障害を与えるおそれがある。融点以上に加熱すると金属酸化物が発生し、吸入すると金属ヒューム熱を起こすことがある。症状は、震え、発熱、倦怠感、筋肉痛である。

第 3 章: 組成・成分情報 【PRTR法(化管法)分類】

3.2. 混合物

製品に含まれるもの: 金属、充填剤

製品に含まれる全ての物質がREACH登録物質または登録免除物質です。閾値以上の分類物質または暴露限界のある物質のみを表示しています。

安全データシート

製品名: マグナ 505 ページ: 3/11
更新日: 2016-05-07 最終改訂日: 2019-10-31
製品番号: SDS-ID: GB-EN/1.1

CLP:

%:	CAS-No.:	EC No.:	REACH 規則 No:	化学名:	危険有害性の分類:	注意事項:
45-55	7429-90-5	231-072-3	-	アルミニウム	水反応可燃性化学 品2;H261 可燃性固体1;H228	T
10-20	13821-20-0	237-509-4	-	ヘキサフルオロアルミン 酸トリリチウム	急性毒性4;H332 特定標的臓器毒 性(反復ばく 露)1;H372 慢性水性毒性2;H411	
10-20	7647-14-5	231-598-3	-	塩化ナトリウム	-	
10-20	7447-40-7	231-211-8	-	塩化カリウム	-	
1-11	13775-52-5	237-409-0	-	ヘキサフルオロアルミン 酸カリウム	皮膚刺激性 2;H315 眼刺激性 2A;H319 特定標的臓器毒性 3;H335	
1-11	7784-18-1	232-051-1	-	フッ化アルミニウム	-	
0-10	7440-21-3	231-130-8	-	ケイ素	-	#

注釈: T: 調和された分類で示される1つ以上の物理的危険性を持たない形態で上市され、試験によりその物質が特定の物理的危険性を示さないことが示された場合、その試験結果に従って分類されるものとする。
#: この物質にはばく露限界が設定されている。

参考資料: すべてのハザードステートメントの全文は、第16章に表示されています。

第 4 章: 応急処置

4.1. 応急処置の説明

吸入: 溶接ヒュームを吸入した場合。空気の新鮮な場所に移動し、安静にする。喉の炎症または咳が続く場合：医師の手当てを受け、この説明書を持参すること。

皮膚接触: 汚染された衣服を脱がせ、皮膚を水で十分に洗浄すること。湿疹やその他の皮膚障害がある場合。医師の手当てを受け、この説明書を持参すること。

目に入った場合: 目をこすらないで水で洗い流してください。不快感が続くようであれば医師に連絡すること。

誤飲: 製品の形態上、可能性は低い。

4.2. 急性及び遅発性の最も重要な症状及び影響

症状・効果: 融点以上に加熱すると金属酸化物が発生し、これを吸入すると金属ヒューム熱を起こすことがある。症状は、震え、発熱、倦怠感、筋肉痛である。健康への影響および症状についてのより詳細な情報は第11章を参照してください。

4.3. 緊急の医療処置や特別な治療が必要な場合の表示

医療・治療: 対症療法で治療する。

安全データシート

製品名:	マグナ 505	ページ:	4/11
更新日:	2016-05-07	最終改訂日:	2019-10-31
製品番号:		SDS-ID:	GB-EN/1.1

第 5 章: 火災時の処置

5.1. 消化剤

消化剤: 周囲の材料に適した消火剤を使用する。

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

特有の危険有害性: 火災時には、健康に有害なガスが発生する可能性があります。

5.3. 消防士へのアドバイス

消防士用保護具: 消化活動のための呼吸保護の選択: 職場に表示されている一般的な火災予防措置に従うこと。

第 6 章: 漏出時の措置

6.1. 個人的な注意事項、保護具、緊急時の対応について

個人的な注意事項: 露出を避ける。溶接を行う場合は、この安全データシートに記載されている安全な取り扱いのための注意事項に従ってください。

6.2. 環境に関する注意事項

環境に関する注意事項: 本製品は自然投棄せず、自治体との協定に基づき回収・配送してください。

6.3. 封じ込め及び浄化のための方法及び材料

清掃方法: 容器に回収し、確実に密封する

6.4. 他の章への参照

参考資料: 個人的な保護については、第 8 章を参照してください。
廃棄物処理については、第 13 章を参照してください。

第 7 章: 取り扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取り扱いのための注意事項

安全な取り扱いのための

アドバイス:

安全な取り扱いのための

アドバイス:

長時間の接触や繰り返しの接触は避ける
溶接を行う場合: ヒュームを吸入しない。化学的な衛生習慣を守ること。

技術的対策:

特に注意することはありません。

技術的な注意事項:

溶接を行う場合: 機械的な換気が必要な場合がある。

7.2. 安全な保管のための条件(非互換性を含む)

安全な保管のための技術的

対策:

特に注意することはありません

保存条件:

密閉容器に入れ、乾燥した場所に保管してください。

安全データシート

製品名: マグナ 505 ページ: 5/11
更新日: 2016-05-07 最終改訂日: 2019-10-31
製品番号: SDS-ID: GB-EN/1.1

7.3. 特定の最終用途

具体的な用途: 溶接材料

第 8 章: 露出管理 / 個人保護

8.1. 制御パラメーター

職業上のばく露限界値:

CAS-No.:	化学名:	As:	ばく露限界値:	タイプ:	注意事項:	参照:
7429-90-5	アルミニウム金属、 吸入性粉塵	-	4 mg/m3	TWA	-	EH40
7440-21-3	ケイ素、吸入性粉塵	-	4 mg/m3	TWA	-	EH40
7440-21-3	ケイ素、吸入性粉塵	-	10 mg/m3	TWA	-	EH40
7429-90-5	アルミニウム金属、 吸入性粉塵	-	10 mg/m3	TWA	-	EH40
-	フッ化物（無機物）	F	2.5 mg/m3	TWA	-	EH40

注釈: EH40: EH40/2005.

8.2. 露出コントロール

技術的対策: 溶接を行う場合: 十分な換気を行うこと。職業ばく露粉塵やヒュームの吸入の危険性を最小限にすること。

個人保護具: 個人用保護具は、CEN規格に従って選択する必要があります。規格に従って、また個人用保護具の供給者と協議の上、選択する必要があります。

溶接を行う場合: 目、皮膚、呼吸器系を保護するために特別な溶接装置を使用する。

衛生対策: 取扱い後は手を洗うこと。汚染された衣服を交換すること。

環境ばく露管理: 使用できません。

安全データシート

製品名: マグナ 505
更新日: 2016-05-07
製品番号:

ページ: 6/11
最終改訂日: 2019-10-31
SDS-ID: GB-EN/1.1

第 9 章: 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理的・化学的特性に関する情報

外観: フラックスコーティングを施したワイヤー
臭気: 使用できません
臭気閾値: 使用できません
pH: 使用できません
融点/凝固点: 1000-1500°C
沸点: 使用できません
引火点: 使用できません
蒸発率: 使用できません
爆発限界: 使用できません
蒸気圧: 使用できません
蒸気密度: 使用できません
相対密度: 5-8
溶解性: 水に不溶性
分配係数(n-オクタノール/水): 使用できません
自動着火温度(°C): 使用できません
分解温度(°C): 使用できません

粘度: 使用できません
酸化性: 使用できません

9.2. その他の情報

その他のデータ: 該当事項はありません。

安全データシート

製品名:	マグナ 505	ページ:	7/11
更新日:	2016-05-07	最終改訂日:	2019-10-31
製品番号:		SDS-ID:	GB-EN/1.1

第 10 章: 安定性及び反応性

10.1. 反応性

反応性: 反応しない

10.2. 化学的安定性

安定性: 通常の温度条件および推奨される使用方法において安定である。

10.3. 危険有害な反応の可能性

危険有害反応: 特になし

10.4. 避けるべき条件

避けるべき条件: 特になし

10.5. 混触禁止物質

混触禁止物質: 水、湿気、酸との接触は避ける。

10.6. 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物: 通常の条件下では、特になし

第 11 章: 有害性情報

11.1. 毒物影響に関する情報

急性毒性(経口): 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

急性毒性(皮膚): 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

急性毒性(吸入): 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

皮膚腐食性/刺激性: 皮膚に刺激を与える

眼に対する重篤な損傷・刺激性:
利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

呼吸器感作性または皮膚感作性:
利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

生殖細胞変異原性: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

発がん性: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

生殖毒性: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

STOT - 単体露出: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

STOT - 繰返しばく露: 吸入すると長期または反復暴露により臓器に損傷を与える。

吸引の危険性: 利用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされていません。

吸入: 融点以上に加熱すると金属酸化物が発生し、これを吸入すると金属ヒューム熱を起こすことがある。症状は、震え、発熱、倦怠感、筋肉痛である。

安全データシート

製品名:	Magna 505	ページ:	8/11
更新日:	2016-05-07	最終改訂日:	2019-10-31
製品番号:		SDS-ID:	GB-EN/1.1

皮膚への接触: 敏感な人にはアレルギー性皮膚障害を引き起こす可能性がある。

目への接触: 溶接をするとき、刺激性があり、発赤や痛みを生じることがある。

誤飲: 製品の形態上、可能性は低い

具体的な効果: 溶接ヒュームの長期又は反復ばく露により、肺及び呼吸器系に障害を与えるおそれがある。

第 12 章: 環境影響情報

12.1. 毒性

生態毒性: 水生生物に有害であり、長期的な影響がある。

12.2. 残留性及び分解性

分解性: 本製品は、生分解性のない無機化合物のみから構成されています。

12.3. 生物蓄積性

生物蓄積性: 生物濃縮に関するデータはない

12.4. 土壌中での移動性

移動性: 本製品は水に不溶です。

12.5. PBTおよびvPvB評価結果

PBT/vPvB: 現在のEUの基準ではPBT/vPvBに分類されない。

12.6. その他の有害事象

その他の有害事象: 特になし。

第 13 章: 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物の処理方法

廃棄物は有害廃棄物に分類される。廃棄物および残滓は、地方自治体の要求に従って処分する。

残渣物からの廃棄物: EWC-code: 12 01 13

第 14 章: 輸送上の注意

本製品は、危険物の輸送に関する国際規制（IMDG、IATA、ADR/RID）の対象外である。

14.1. 国連番号

UN-No: -

14.2. 国連輸送名

適切な出荷時の名称: -

14.3. 輸送の危険性

クラス: -

安全データシート

製品名:	Magna 505	ページ:	9/11
更新日:	2016-05-07	最終改訂日:	2019-10-31
製品番号:		SDS-ID:	GB-EN/1.1

14.4. 包装グループ

PG: -

14.5. 環境に対する危険性

海洋汚染物質: -

環境負荷物質: -

14.6. 使用者への特別な注意事項

特別な注意事項: 該当事項はありません。

14.7. MARPOL 附属書 II および IBC コードに従った積荷輸送

積荷輸送: 該当事項はありません。

第 15 章: 規制情報

15.1. 物質または混合物に特有の安全、健康、環境に関する規制/法律

特別の規定: 原則として、18歳未満の方は本製品を使用することはできません。使用者は、正しい作業手順、製品の危険な特性、必要な安全指示について慎重に指導されなければなりません。

国家規制: 化学物質の登録、評価、認可および制限（REACH）に関する2006年12月18日の欧州議会および理事会規則（EC）No 1907/2006、欧州化学物質庁の設立、指令 1999/45/ECの改正、理事会規則（EEC）No 793/93および委員会規則（EC）No 1488/94、理事会指令76/769/ECおよび委員会指令91/155/EC、93/67/EC、93/105/EC および 2000/21/EC を廃止、ならびに改正。
物質および混合物の分類、表示および包装に関する 2008 年 12 月 16 日付欧州議会および理事会規則（EC）No1272/2008、指令 67/548/EEC および 1999/45/EC を修正および廃止、ならびに規則（EC）No1907/2006 を改正。
2002 年健康に有害な物質の管理規則（S.I 2002 No. 2677）の改正。
EH40/2005、2005 年職場暴露限界値、およびその改正。
1999 年労働安全衛生管理規則（SI 1999 No.3242）、およびその改正。
廃棄物リスト（イングランド）（改正）規則 2005. (SI 2005 No. 895)。

15.2. 化学物質安全性評価

CSAの状況: 化学的安全性評価は行っていません。

安全データシート

製品名:	Magna 505	ページ:	10/11
更新日:	2016-05-07	最終改訂日:	2019-10-31
製品番号:		SDS-ID:	GB-EN/1.1

第 16 章: 輸送上の注意

使用上の制限については、第15章を参照してください。

以下の項目は、修正または新規の記述が含まれています : 2, 3, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 16

Magna Welding Alloys
13th Fl., Unit B, PAX Tower,
609, Eonju-Ro, Gangnam-Gu, Korea 06108
Tel : +82-2-2088-3560 Fax : +82-2-513-3567
Webサイト : www.magnagroup.com

Magna商標は、ITW inc.の著作権であり、ITW PP & F Korea Limited のライセンスに基づき使用されています。

安全データシートで使用される略語と頭字語: PBT = Persistent, Bioaccumulative and Toxic. (難分解性、生体蓄積性、毒性)
vPvB = 非常に難分解性で、非常に生体蓄積性が高い

追加情報: 規則 (EC) No. 1272/2008 に従った分類: 計算方法

注) 日本国内輸入元 株式会社エクシードによりITW PP & F Korea Limited が発行する英文SDSを日本語に本翻訳しました正式なSDSです。

適用法令:
安衛法、化管法、毒劇物法、化審法

参考文献:

- ・ 日本産業衛生学会:許容濃度等の勧告
- ・ American Conference of Governmental Industrial Hygienist TLVs and BEIs (Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents, and Biological Exposure Indices) ・ OSHA:Occupational Safety and Health Standards – Limits for Air contaminants (1910.1000) 及び Occupational Safety and Health Standards for Shipyard – Air contaminants (1915.1000)
- ・ 日本溶接協会規格 WES 2302 : 2012 溶接材料の管理指針
- ・ 日本溶接協会規格 WES 9009-1~6 : 溶接、熱切断及び関連作業における安全衛生
- ・ American National Standard ANSI Z 49.1:2014 "Safety in Welding, Cutting and Allied Processes" ・ CSA (Canadian Standards Association) Standard W117.2-12"Safety in Welding, Cutting, and Allied Processes"
- ・ (独) 製品評価技術基盤機「化学物質総合情報提供システム」(CHRIP)

安全データシート

製品名:	Magna 505	ページ:	11/11
更新日:	2016-05-07	最終改訂日:	2019-10-31
製品番号:		SDS-ID:	GB-EN/1.1

Hステートメントの文言:

H228	可燃性固体
H261	水と接触すると引火性ガスが発生する
H302	飲み込むと害がある
H315	皮膚に刺激を与える
H317	アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性があります
H319	重篤な眼刺激
H332	吸い込むと有害
H335	呼吸器に刺激を与えるおそれがある
H351	発がんの恐れがある
H372	長期または反復ばく露により、臓器に損傷を与える。
H372	吸入すると、長期にわたる反復ばく露により、臓器に障害を与える。
H372A	長期または反復ばく露により、臓器（血液）に障害を与える。
H372a	吸入すると、長期にわたる反復ばく露により、臓器に障害を与える。
H411	水生生物に毒性があり、長期的な影響がある。

このデータシートに記載されている情報は、当社の現在のデータを表しており、製品が所定の条件下で、パッケージおよび/または技術指導資料で指定された用途に従って使用される限り、信頼できるものです。本製品を他の製品と組み合わせて使用する場合、または他のプロセスと組み合わせて使用する場合は、使用者の責任で行ってください。

DHI - Environment and Toxicology, Agern Allé 5, DK-2970 Hørsholm, Denmarkで作成されました。

www.dhigroup.com

第 17 章: 翻訳内容について

日本国内輸入元 株式会社エクスードによりITW PP & F Korea Limitedが発行する英文SDSを日本語に本翻訳しました正式なSDSです。
